



東広会ニュース

7月号

2018年(平成30年)

Vol.169

発行所 東京都渋谷区恵比寿南1-5-5
JR恵比寿ビル10F

東日本鉄道東京広告会

電話 03(5447)7928

E-MAIL info@tokokai.jp

< 2018年度 第1四半期 媒体別売上実績 > (単位: 百万円)

媒体		第 1 四半期			
		2018 年度	2017 年度	前年比	増減
車両メディア	中づり	1,128	1,288	87.5%	-160
	まど上・ドア上	832	943	88.2%	-111
	ドア横新B	1,020	1,007	101.4%	14
	ステッカー	715	736	97.2%	-21
	ADトレイン・車体広告	293	299	98.2%	-5
	新幹線・ローカル・他社線	93	142	65.1%	-50
	車内デジタルサイネージ	2,116	1,791	118.1%	324
	計	6,197	6,206	99.8%	-10
駅メディア	駅ポスター	502	538	93.3%	-36
	SP メディア	642	611	105.1%	31
	サインボード	1,896	1,920	98.7%	-24
	フリーペーパーラック 店舗ラッピング	137	133	103.4%	5
	駅デジタルサイネージ	695	580	119.7%	115
	計	3,873	3,782	102.4%	90
メディア計		10,069	9,988	100.8%	81
その他（工事 他）		20	10	204.0%	10
総計		10,089	9,998	100.9%	91

J企交通媒体本部 「2018年度第1四半期売上」まとまる

J企交通媒体本部の2018年度第1四半期の売上は、4月が109%、5月が92%、6月が101%となり、全体では100億89百万円、対前年100.9%となった。メディア別では、車両メディアは対前年99.8%で、駅メディアは対前年102.4%となった。

■車両メディア(実績61億97百万円、対前年99.8%)

『中づり』『まど上・ドア上』は、大口出稿が減少したこと等により前

年度を下回った。

『ドア横新B』は、企画商品の積極的な販売を行ったこと等により前年度を上回った。

『ステッカー』は、割引販売等により前年度を下回った。

『ADトレイン・車体広告』は、大口出稿が減少したこと等により前年度を下回った。

『車内サイネージ』は、『まど上チャネル』の出稿増や企画商品の積極的な販売を行ったこと等により前年度を上回った。また「トレインチャネル」では天気予報コンテンツのジャック展開が実施された。

■駅メディア(実績38億73百万円、対前年102.4%)

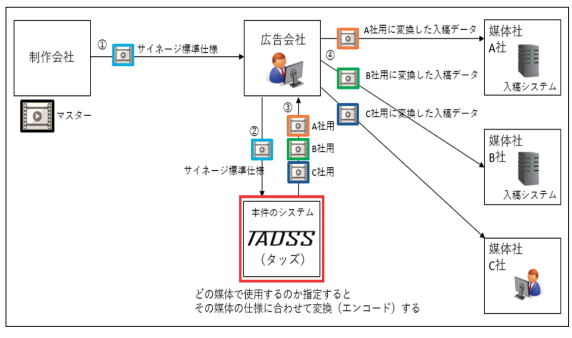
『駅ポスター』は、「一般ポスター」は前年度を上回ったが、「セット商品」が前年度を下回り、全体では前年度を下回った。

『SPメディア』は、「自動改札ステッカー」は前年度を下回ったが、「イベント等」「集中貼り」「SPボード等」が前年度を上回り、全体では前年度を上回った。

『サインボード』は、武蔵小杉駅等で計画開発を行い、昨年度に引き続き「予約販売」等の販売に努めたが駅改良工事による支障等が影響し、前年度を下回った。

『駅サイネージ』は、大口出稿が増加したことや企画商品の積極的な販売を実施したこと等により前年度を上回った。

- システム名称 「TADSS (タッズ)」
 Transit Advertising Digital Signage System
- 運用開始時期 2018年7月2日 (月)
- 導入メリット ①入稿データの標準化
 ②製作コストの削減化
 ③素材製作～入稿までの期間短縮化
 ④素材管理の簡便化
- 入稿イメージ



実施概要

関東地区における鉄道事業者・ハウスエージェンシー11社局

(株)ジェイアール東日本企画 (株)メトロアドエージェンシー
 (株)東急エージェンシー 東武鉄道(株) (株)小田急エージェンシー
 (株)京王エージェンシー 西武鉄道(株) 東京都交通局
 (株)京急アドエンタープライズ (株)京成エージェンシー
 相模鉄道(株)

交通広告のデジタルサイネージ入稿データを標準化し、管理をより簡易化するプラットフォーム「TADSS (タッズ)」の提供を開始

関東地区における鉄道事業者ならびにハウスエージェンシーの11社局（以下、11社局）では、広告会社向けに交通広告デジタルサイネージ入稿データ共有プラットフォーム「TADSS (タッズ)」の提供を7月2日(月)から開始した。

従来、11社局が展開する電車内・駅構内等のデジタルサイネージでは、各社局ごとの入稿仕様に合わせた入稿データを用意する必要があったが、「TADSS (タッズ)」の導入により、標準化した入稿仕様データを用意すれば、各社局が展開するデジタ

ルサイネージの決められた入稿仕様データを自動生成することが可能となる。

「TADSS (タッズ)」を利用することにより広告会社は、各社局の入稿仕様に合わせて行っている素材調整の作業が軽減され、入稿データ管理を簡便化できるとともに、使用する媒体の仕様変更に対応できることになる。

11社局では今後も交通広告の新たな魅力・媒体価値向上を目指し連携して取り組みを行っていく。

山手線、中央線快速、京浜東北線・根岸線で「中づり貸切り」の展開を実施

山手線、中央線快速、京浜東北線・根岸線で「中づり貸切り」の広告展開が実施された。

広告主はフマキラー株式会社である。

山手線、中央線快速、京浜東北線・根岸線の1編成全ての中づりをジャックした今回の展開は、山手線、中央線快速、京浜東北線・根岸線利用者の注目を浴びた。

実施期間は「山手線中づり貸切り」が6月16日(土)から6月22日(金)まで、「中央線快速中づり貸切り」が6月1日(金)から6月7日(木)まで。京浜東北線・根岸線が5月16日(水)から5月22日(火)まで。



中央線快速中づり貸切り

「女性専用車中づりジャック」の展開を実施

中央線快速、中央総武線各駅停車、埼京線・りんかい線、京浜東北線・根岸線、常磐線各駅停車、青梅線・五日市線、つくばエクスプレスの女性専用車で中づりジャック展開が実施された。

広告主はプロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン株式会社で、「レノアオードリュクス」のPRが行われた。

女性専用車というターゲットが明確な車内の中づりをジャックした展開は、女性専用車利用者の関心を集めた。展開期間は6月4日(月)から6月10日(日)まで。



女性専用車中づりジャック

上野駅で「フラッグ」の 展開を実施

上野駅において「フラッグ」の展開が実施された。

広告主は福井県である。

上野駅「フラッグ」は、上野駅中央改札外自由通路に大型サイズで掲出できるインパクトのあるメディアであり、今回の展開は上野駅利用者の関心を集めた。

展開期間は5月28日(月)から6月3日(日)まで。



上野駅フラッグ

代々木駅・信濃町駅で フロア広告の展開を実施

代々木駅西口改札外、信濃町駅改札内においてフロア広告が展開された。

広告主は株式会社T H I N K フィットネスで、「ゴールドジム」のPRが行われた。

代々木駅西口改札外と信濃町駅改札内の床面を活用した今回の展開は、代々木駅と信濃町駅利用者の関心を集めた。

展開期間は代々木駅、信濃町駅ともに5月14日(月)から6月10日(日)まで。



代々木駅フロア広告



信濃町駅フロア広告

「新橋地下通路デジタルシート セット」の展開を実施

「新橋地下通路デジタルシートセット」の展開が実施された。

広告主は株式会社ニコンビジョンで、ゴルフ用レーザー距離計「COOLSHOT PRO STABILIZED」のPRが行われた。

「新橋地下通路デジタルシートセット」は、J・ADビジョン10面とシート広告10面を同時に展開できるインパクトの高いメディアであり、新橋駅汐留口改札外地下通路をジャックした今回の展開は新橋駅利用者の関心を集めた。

展開期間は、5月28日(月)から6月3日(日)まで。



新橋地下通路デジタルシートセット

横浜駅、大宮駅、川崎駅、立川駅の SPメディアを活用した展開を実施

横浜駅の中央通路にライトアップされたシート広告を掲出できる「横浜中央通路ライトアップシート」、大宮駅の中央自由通路に掲出できる大宮駅「フラッグ」、川崎駅の改札内に集中掲出ができる川崎駅「フラッグ」、立川駅東口改札内に掲出できる立川駅「横断幕」を活用した展開が行われた。

広告主は株式会社エン・ジャパンで、「エン転職」のPRが行われた。

展開期間は「横浜中央通路ライトアップシート」、大宮駅「フラッグ」が6月4日(月)から6月17日(日)まで、川崎駅「フラッグ」が6月4日(月)から6月10日(日)まで、立川駅「横断幕」が6月1日(金)から6月14日(木)まで。



横浜中央通路
ライトアップシート



川崎駅フラッグ

各種委員会を開催

各委員会では、第1回理事会（6月5日開催）において選任された委員による委員会をJ企会議室で開催した。

「各メディア委員会」

・6月20日(水)

◆サインボード・安全委員会

・6月21日(木)

◆駅メディア委員会

◆車両メディア委員会

各委員会において、委員の互選により委員長、副委員長を選出した。また、今年度の活動方針を確認し、分科会の組織づくり、交通広告の現況等について意見交換が行われ、媒体社と広告会社が一体となって課題等に取り組んでいくことが確認された。

各分科会の座長・副座長には

・サインボード・安全分科会

座長 稲川 一氏 (株)文宣

副座長 中橋 光氏 (株)大晃

副座長 関 学氏 (株)星広告

副座長 高橋源治氏 (株)共和企画

・駅メディア分科会

座長 杉本純一氏 (協立広告)(株)

副座長 大澤将雄氏 (株)オリコム

・車両メディア分科会

座長 笹川英哉氏 (株)オリコム

副座長 池谷裕志氏 (協立広告)(株)

・デジタルサイネージ・メディア分科会

座長 増田吉郎氏 (株)電通

副座長 高畠 治氏 (株)博報堂DYメディアパートナーズ

各氏が選任された。

委員会名簿(順不同)

2018年7月

総務委員会 (7名)

委員長 神田橋 治 (株)TOMOE
副委員長 細野 文隆 (株)ユース広告社
副委員長 石原 能郎 (株)東広
副委員長 箕輪 正則 (株)鉄道広告(株)

工藤 博 (株)NKB
渡邊 竜介 (株)日宣エージェンシー
渡邊 健二 (株)シリアル東日本企画
渡邊 健二 (株)交通媒体本部

サインボード・安全委員会 (20名)

委員長 稲川 一 (株)文宣
副委員長 中橋 光 (株)大晃
副委員長 関 学 (株)星広告
副委員長 高橋 源治 (株)共和企画
外谷 敬之 (株)NKB
越沼 義之 (株)エヌエス広告社
大橋 恒夫 (株)近宣
田中 誠一 (株)コーシン広告社
大澤 将雄 (株)オリコム
足立 義人 (株)ニューアド社
大森 雄二 (株)大宣
練木 裕二 (株)山水広告社
武田 英隆 (株)日交
小坪 厚 (株)スバル広告(株)
村西 哲郎 (株)アドスマイル
五島 剛 (株)シリアル東日本企画
末吉 智秋 (株)シリアル東日本企画
中村 歩 (株)シリアル東日本企画
三神 正彦 (株)シリアル東日本企画
紫藤 裕二 (株)シリアル東日本企画
交通媒体本部

駅メディア委員会 (19名)

委員長 田草川 滋 (株)ニューアド社
副委員長 北 康夫 (株)博報堂DYメディアパートナーズ
副委員長 中村 晃 (株)日交
副委員長 望月 敏弘 (株)春光社

杉本 純一 (協立広告)(株)
上野 泰 (株)TOMOE
吉行 由里 (株)電通
箱田 智正 (株)ムサシノ広告社
小池 実 (株)弘亜社
興石 栄作 (株)JBコミュニケーション
佐野美喜夫 (株)日本スタデオ
菊田 眞弘 (株)NKB
岡 雄治 (株)共和企画
島田 康男 (株)オリコム
五島 剛 (株)シリアル東日本企画
末吉 智秋 (株)シリアル東日本企画
田口 俊 (株)シリアル東日本企画
稲田 浩史 (株)交通媒体本部
安田 恵一 (株)シリアル東日本企画
交通媒体本部

車両メディア委員会 (19名)

委員長 杉本 公男 (協立広告)(株)
副委員長 細野 顕宏 (株)JBコミュニケーション
副委員長 関野 茂 (株)日本スタデオ
副委員長 大村寿一郎 (株)弘亜社
鍋島 義博 (株)TOMOE
笹川 英哉 (株)オリコム
渡部 清重 (株)ムサシノ広告社
石毛 真哉 (株)春光社
小野寺美紀子 (株)NKB
富田 大祥 (株)電通
成田 和宏 (株)日交
打越 康彦 (株)博報堂DYメディアパートナーズ
浅野 昇 (株)ニューアド社
那波 俊哉 (株)東急エージェンシー
十津川 研 (株)文宣
谷内 洋之 (株)シリアル東日本企画
末吉 智秋 (株)シリアル東日本企画
稲田 浩史 (株)シリアル東日本企画
金井 尊之 (株)シリアル東日本企画
交通媒体本部

意匠交換に関わる作業規制

JR東日本では、夏季輸送に伴い管内の列車の安定輸送を図るため、「作業等調整期間」が設定された。この期間中の広告に関する作業等について、規制期間中は意匠交換等の作業を行わない事としている。

「夏季輸送作業等調整期間」

■東京・横浜・八王子・大宮・千葉の各支社

8月10日(金)22時～17日(金)9時まで

※詳細はJR東日本メディア(株)

設備管理部 安全指導課

(電話) 03・5391・1246

会員名簿変更

・代表者変更

(株)錦糸町ステーションビル

代表取締役社長 小野 伸司氏 (6月27日付)

(株)毎日広告社 (6月27日付)

代表取締役社長 大村 勝氏

退会 (6月30日付)

(有)湘南広告社 (6月30日付)

所在地変更 (7月2日付)

(株)櫻華社 (7月2日付)

〒100・0005

東京都千代田区丸の内3・6・4

電話 03・6259・1661

FAX 03・6259・1660

(株)山水広告社 (7月17日付)

〒101・0021

東京都千代田区外神田2・13・5

MINTRON秋葉原ビル5F

※電話・FAX番号変更なし